

ふるさと納税で 沼田町が元気に!!

ふるさと納税とは

多くの人が地方のふるさとで生まれ、そこで教育や医療などのサービスを受けて育ち、やがて進学や就職を機に都会へと生活の場を移すと、そこで納税することになります。

その結果、都会の自治体は税収を得ますが、生まれ育った故郷の自治体には税収が入りません。

今は都会に住んでいるけれど、自分を育ててくれたふるさとに自分の意思で、いくらかでも納税できる制度があっても良いのではないかと?

そんな問題提起から始まり、多くの議論や検討を経て生まれたのがふるさと納税制度です。納税という言葉がついてますが、税金を納めるのではなく、実際には市区町村に対する寄附です。

日本中の皆さまから沼田町へふるさと納税いただきました金額は下記のとおりです。

寄附金額 **2億945万1,049円**

寄附件数 **9,258件**

年度別寄附額

年 度	件 数	金 額
平成20年度	52件	481万2,271円
平成21年度	22件	67万2,837円
平成22年度	25件	55万9,332円
平成23年度	13件	660万3,305円
平成24年度	14件	236万3,625円
平成25年度	45件	718万1,216円
平成26年度	1,127件	1,519万600円
平成27年度	12,344件	1億9,428万5,226円
平成28年度	19,680件	2億8,514万8,852円
平成29年度	19,699件	3億41万7,631円
平成30年度	21,830件	3億3,708万円
令和元年度	9,258件	2億945万1,049円

令和元年度ふるさと納税活用状況

● 寄附金の充当実績

事業名	金額	主な内容
1. 安心して暮らしやすいまちづくりを追求する事業	14,146万円	
医療・福祉・子育て支援事業	12,444万円	乳幼児・小中学生の医療費助成、子育て世帯への灯油助成、町外へ通学する高校生へ交通費助成 等
防災事業	1,702万円	公共施設への非常用発電機の導入など、町民が安心して暮らすための事業 等
2. 活気あるまちづくりを追求する事業	1,605万円	
地域活動支援事業	56万円	町内会や住民組織が主体となって行う地域活動への助成 等
JR留萌本線利用促進事業	202万円	イベント等によりJR留萌本線の利用を促す事業
商工観光事業	1,347万円	中小企業・商店街活性化を目的とした各種事業や空き店舗を活用した起業への支援、夜高あんどん祭り継承事業、地域資源をまちの観光資源として活用に向けての事業 等
3. 教育環境に優れたまちづくりを追求する事業	3,213万円	
学力向上等学校教育に関する事業	1,617万円	未来を担う子どもたちへの充実した教育を受けてもらう為、補助教諭や学習支援員を配置、外国語指導助手を小中一貫教育校の沼田学園に配置 等
交流事業	4万円	姉妹都市である富山県小矢部市との交流事業
化石研究事業	47万円	「ヌマタネズミルカ化石」が北海道天然記念物に指定されたことを記念した企画展の開催 等
文化財保存事業	85万円	文化財（「蒸気機関車「クラウド15号」「本願寺駅通」）の保存管理 等
社会体育事業	1,460万円	自然体験キャンプ事業や沼田高穂スキー場の施設運営 等
4. 地球環境に貢献するまちづくりを追求する事業	5,244万円	
沼田町自治振興協議会グリーンルーラル21事業	72万円	市街地等の歩道花壇やプランターに花の植栽を行う町内の環境美化事業の花の購入 等
環境保全事業	5,172万円	未来につなぐ森づくり事業、ほたるの研究、雪を活用する「利雪」への取り組みや研究、街灯のLED照明改修事業 等
5. その他目的達成の為、町長が必要と認めた事業	5,615万円	
医療・福祉・子育て支援事業	1,489万円	町民の健康増進、医療体制確保のための事業 等
移住定住事業	1,107万円	町外からの通勤者の転入費用支援や子育て世帯町外通勤費用支援、民間賃貸住宅建設助成、DIYリノベーション事業 等
商工観光事業	977万円	企業情報発信とキャリア教育を目的とした事業や中小企業特別融資利子補給及び保証料補助事業、一元的な観光等PR 等
公共施設等管理事業	2,025万円	子どもから大人まで集える公園、プールの管理 等
町民交流事業	17万円	町民が個々の魅力を引き出し生き活きとして活動し皆が交流できるイベント事業 等
合計	2億9,823万円	